

2010年10月14日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSR ビル

代表取締役社長 藤田正雄

## TSR - Press Release

# リチウムイオン電池、材料市場の調査分析結果を発表

～ LIB材料市場は、中国材料メーカーの台頭の予兆！ 更にEV/HEV市場の立ち上がりにより  
体力のある化学メーカーの新規参入により、業界構造は正に戦国の時代へ！ ～

株式会社 テクノ・システム・リサーチは、リチウムイオン電池(以降「LIB」)主要材料の市場分  
析結果を発表しました。

本リリースは、「2010年版 LIB 材料市場のマーケティング分析」(2010年10月発刊)の  
概要です。同資料は、LIB の主要材料を中心に扱ったレポートで、主要中国メーカ  
ーも含めた各社の取り引きマップ、自動車向けの供給マップ、材料のタイプ別の現状とトレ  
ンド、中国メーカーの影響力、中国ローカル LIB 市場の現状とトレンド、そしてそれら  
を踏まえた上で考える“次の一手”を、各部材ごとに言及した資料となっています。

電池材料市場は、2009年、正極材：5万トン、負極材：2万7,000トン、セパレータ：3  
億5,600万平方メートル、電解液：2万4,000トン、となった。

2010年以降も、今の主要アプリケーションである NotePC や携帯電話の市場拡大以外に  
も、電気自動車の立ち上がり、中国ローカル市場の拡大、などによって材料市場は飛躍的  
に成長していき、2015年には2009年のおよそ3倍(ボリュームベース)の市場を形成し  
ていくものと予測される。

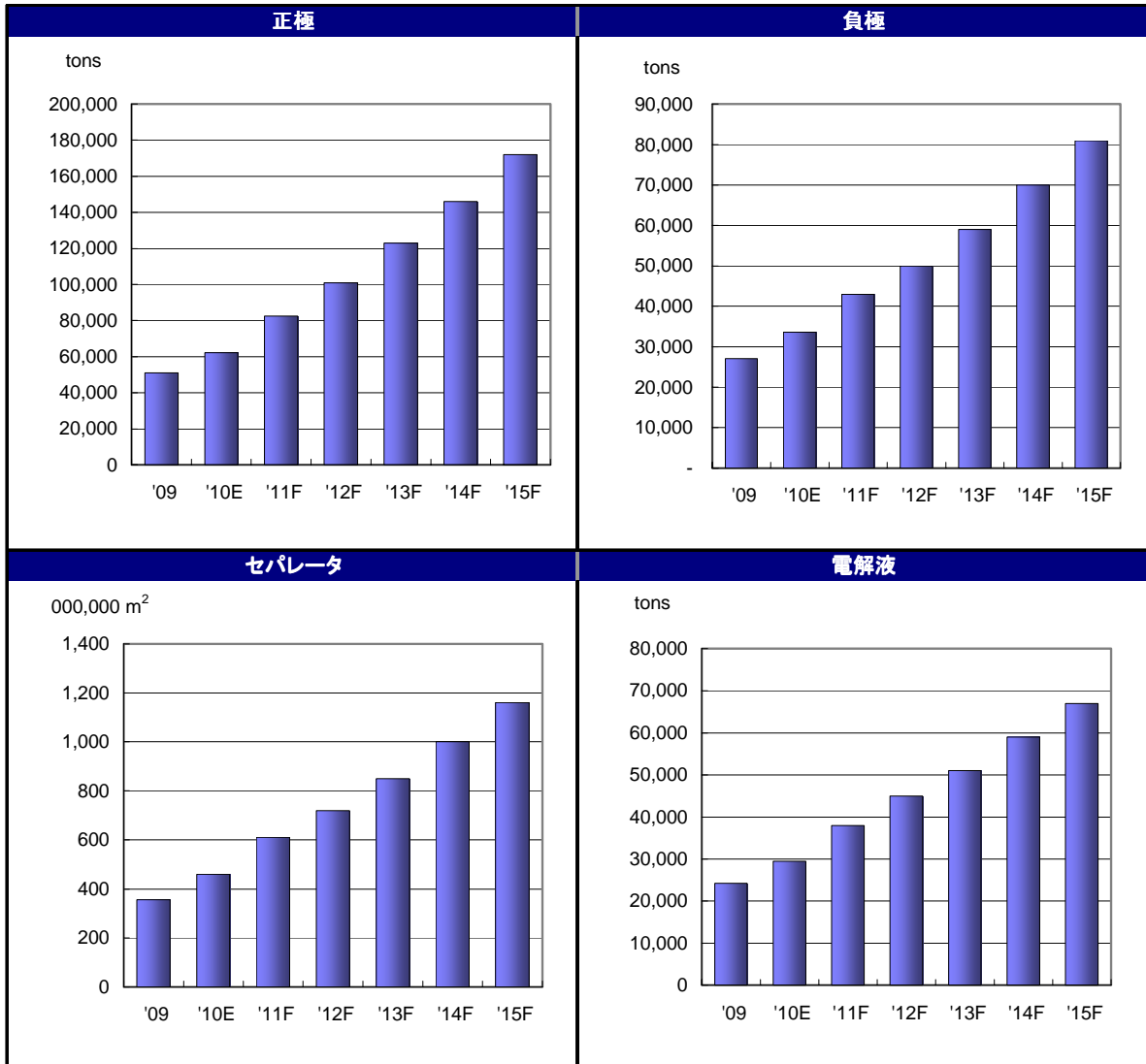
また、正極については、三元系の進化、マンガン系の採用拡大、オリビン鉄の市場形成、  
が起きることが予測され、負極については、金属系負極の市場形成、ハードカーボン、ソ  
フトカーボンの地位確立など、向こう5年間でさまざまな次世代技術の実用化についても  
大きく期待される。

このように飛躍的な市場成長が期待される LIB 市場であるが、

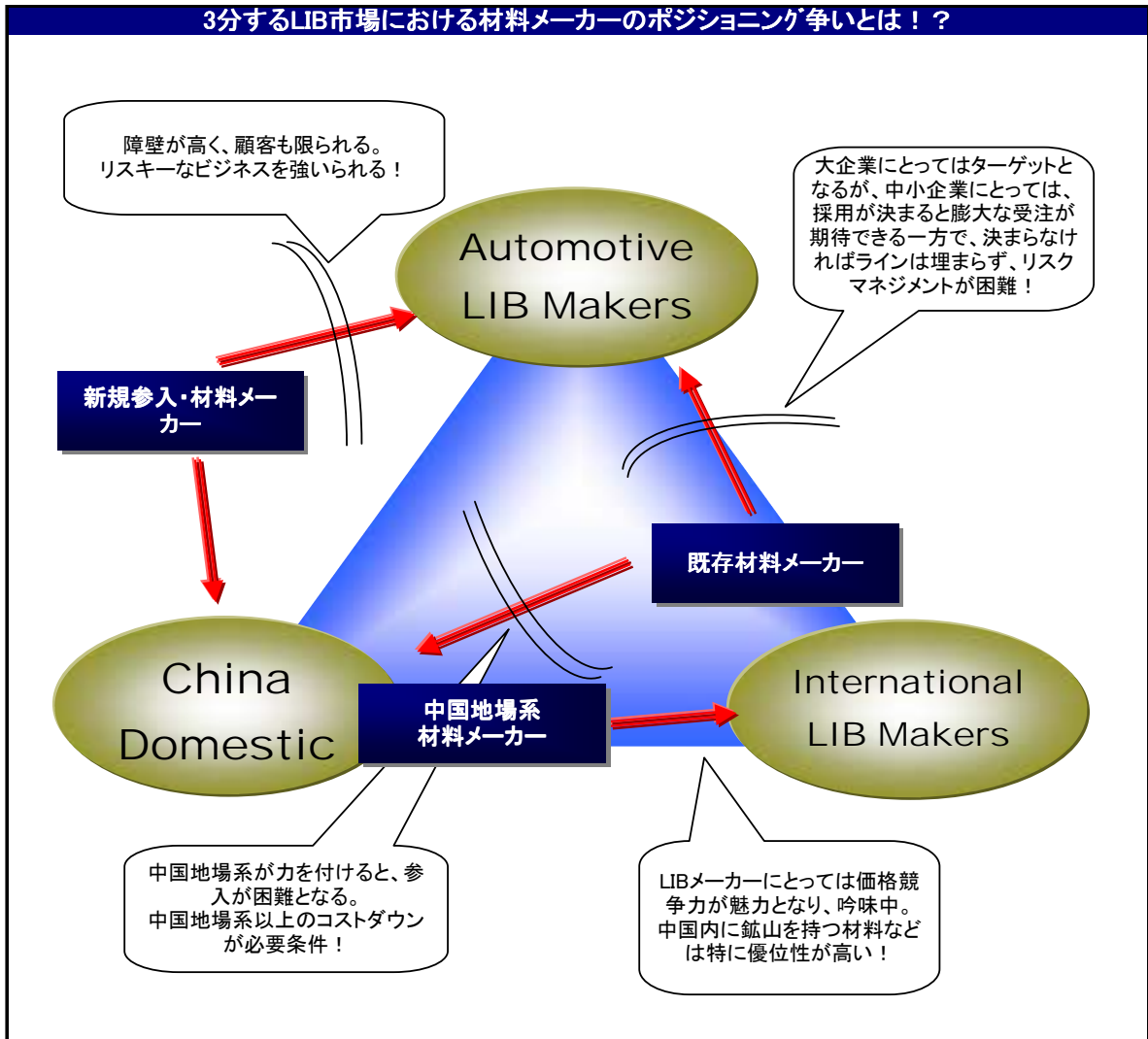
〈既存材料メーカー〉 vs. 〈中国地場系材料メーカー〉 vs. 〈新規参入メーカー〉

という三つ巴の構図が、今までの LIB 材料の市場構造を根底から変えようとしている。

発火・爆発などの危険性を伴うため“絶対的な信頼性”を求める LIB 市場では、材料の調達先を切り替えることに対して概して慎重で、比較的安定的に取り引きを行う文化であったが、①中国材料のレベルアップと、②EV 市場の期待感による、大手・中堅化学系メーカーの新規参入、によって LIB 材料業界における市場競争が急速に熾烈化の様相を呈している。



3分するLIB市場における材料メーカーのポジショニング争いとは！？



【リリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第1グループ 山本 連三 (yamamoto@t-s-r.co.jp) 加藤 将 (kato@t-s-r.co.jp)

Tel: 03-3851-5651